

2 貸借対照表関係比率 私立大学のみ

【作成年度：2015年度実績】

(表18)

	比 率	算 式 (* 100)	算 式 (* 100)	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	備 考
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	% 90.3	% 91.8	% 92.6	% 93.7	% 93.1	
2	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	9.7	8.2	7.4	6.3	6.9	
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$	6.9	6.5	6.0	5.7	5.4	
4	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$	4.5	4.2	4.2	4.0	4.0	
5	純資産構成比率 (自己資金構成比率)	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	88.6	89.3	89.7	90.3	90.6	
6	繰越収支差額構成比率 (消費収支差額構成比率)	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債+純資産}}$	-8.0	-7.6	-7.3	-6.9	-6.6	
7	固 定 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	102.0	102.8	103.2	103.8	102.7	
8	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金+固定負債}}$	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}}$	94.6	95.8	96.6	97.7	96.9	
9	流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	214.3	194.2	176.0	156.0	174.1	
10	総 負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	11.4	10.7	10.3	9.7	9.4	
11	負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	12.9	12.0	11.5	10.8	10.3	
12	前 受 金 保 有 率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	235.2	224.4	168.8	216.4	222.6	
13	退職給与引当特定資産保有率 (退職給与引当預金率)	$\frac{\text{退職給与引当特定預金(資産)}}{\text{退職給与引当金}}$	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
14	基 本 金 比 率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	98.5	98.7	99.0	99.2	99.4	
15	減 価 償 却 比 率	$\frac{\text{減価償却累計額(図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	$\frac{\text{減価償却累計額(図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	52.8	54.1	54.7	54.9	55.2	

- 【注】1 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の貸借対照表を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。
2 「総資産」は「総負債+基本金+消費収支差額」の計算式で算出した。
3 2014(平成26)年度以前については、算式 を用いて、2015(平成27)年度以後については、算式 を用いて、比率を算出してください。
4 日本私立学校振興・共済事業団に提出している数値を記載してください。

【明治学院大学注記】

- 1 各比率は小数第2位まで計算し、小数第2位を四捨五入して小数第1位を表示している。
2 「総資産」は「総負債+基本金+消費収支差額」の計算式で算出した。
3 「純資産」は「基本金+消費収支差額」の計算式で算出した。
4 「減価償却資産取得価格(図書を除く)」は「(有形固定の期末残高+ソフトウェア期末残高)-土地・図書・建設仮勘定の各期末残高」の計算式で算出した。